

# 機能一覧

機能		説明	
CPU選択	変換元PLC	CX-Programmerで保存したプロジェクトファイルからSYSMACシリーズのCPU、C1000H/C2000H/C200H/C200HS/C200HX/C200HG/C200HE/CS1/CJ1を自動的に判別します。	
	変換先PLC	MELSEC-Qシリーズ(Qモード)のQ00J/Q00/Q01/Q02CPU/Q02H/Q06H/Q12H/Q25H/Q12PH/Q25PH CPUの中から、置き換えるシステムに合ったCPUを自由に選択できます。	
プログラム変換	シーケンス命令	SYSMAC Cシリーズのシーケンス命令をMELSEC-Qシリーズの該当命令に自動変換します。 MELSEC-Qシリーズに該当する命令がない場合は、変換パラメータの「エラー処理設定」で指定した処理方法に基づき自動変換されます。	
	リレー	SYSMAC CシリーズのリレーをMELSEC-Qシリーズの該当するデバイスに自動変換します。 MELSEC-Qシリーズに同じ機能のデバイスがない場合は、変換パラメータの「代替リレー設定」で指定した代替デバイスに自動変換されます。	
	変数	グローバル変数	SYSMAC Cシリーズのグローバル変数をMELSEC-Qシリーズの共通デバイスコメントの機器名に変換します。 【変換可能な最大文字数は半角8文字】
		ローカル変数	SYSMAC Cシリーズのローカル変数をMELSEC-Qシリーズのプログラム別デバイスコメントの機器名に変換します。 【変換可能な最大文字数は半角8文字】
	コメント	グローバル変数I/Oコメント	SYSMAC Cシリーズのグローバル変数I/OコメントをMELSEC-Qシリーズの共通デバイスコメントに変換します。 【変換可能な最大文字数は半角32文字】
		ローカル変数I/Oコメント	SYSMAC Cシリーズのローカル変数I/OコメントをMELSEC-Qシリーズのプログラム別デバイスコメントに変換します。 【変換可能な最大文字数は半角32文字】
		プログラムコメント	MELSEC-Qシリーズの周辺ステートメントに変換されます。 プログラムコメントはプログラムの先頭に挿入されます。 セクションコメントは各セクションの先頭回路の前に挿入されます。 変換できる文字数は1行あたり最大半角64文字です。これを超える場合は複数行に分割されます。 ただし、コメントの途中で改行コードが入ると、それ以降は変換されませんのでご注意ください。
		行コメント	
	PCメモリ	SYSMAC CシリーズのCPUから読み出したPCメモリの内容を、MELSEC-Qシリーズのデバイスメモリに設定します。 設定可能なリレー/デバイスはDM→D.TIM→T.CNT→Cの3つです。	
	変換パラメータ	入出力割付設定	SYSMAC Cシリーズで高機能I/Oユニットが使用されていた場合に、I/Oユニットとの区別を設定します。また、全スロットの入出力割付が確認できます。
エラー処理設定		自動変換時に、シーケンス命令およびリレーの変換がエラーとなったときの処理方法を指定します。	
代替リレー設定		自動変換時に、MELSEC-Qシリーズに同じ機能のリレーが無い場合の代わりとなるデバイスを指定します。	
変換パラメータ設定内容の保存/読出		入出力割付設定、エラー処理設定、代替リレー設定の各内容が保存できます。また、同じパラメータ設定で変換を行う必要があるとき、保存したパラメータ設定を読み出して変換することができます。	
プロジェクトファイル作成	変換されたプログラムをGX Developerのプロジェクトファイルとして保存します。		
CSVファイル作成	変換されたプログラムをGX Works2で読み込み可能な、ラダーCSVファイル、コメントCSVファイルに保存します。		
変換ステータスファイル作成	変換ステータスの内容(エラー、警告、プログラムステップ数、使用デバイス範囲、変換後の注意事項)をログ形式ファイルに保存します。また保存されたファイルを読み出して、変換エラーや警告の内容を再確認することも可能です。		
ダイレクトヘルプ	変換ステータスに表示されるエラーまたは警告をダブルクリックすると、オンラインヘルプが起動してコンパトマニュアルのエラーまたは警告に関する詳細説明が表示されます。		
オンラインヘルプ	操作マニュアル	SYSMAC CシリーズのシーケンスプログラムからMELSEC-Qシリーズのシーケンスプログラムに変換する手順およびプログラムコンバータの操作方法を説明します。	
	コンパトマニュアル	SYSMAC Cシリーズのシーケンス命令ごとに、MELSEC-Qシリーズの該当するシーケンス命令、変換のポイント、注意事項およびサンプルプログラムの参照が行えます。	
	サンプルプログラムコピー	コンパトマニュアルに記載されているMELSEC-Qシリーズ用のサンプルプログラムを、GX Developerの回路編集画面上にコピーします。	
リレー→デバイス変換ツール	SYSMACのリレー番号を入力すると、MELSEC-Qシリーズの該当デバイス番号を表示する機能です。 プログラムを手動で修正するときに利用します。		

## プログラム変換率

### ■C1000H/2000H/200Hシリーズの変換率

シーケンスプログラム 命令区分	コンバート率					
	命令数	単純比較		命令使用比率	プログラム変換率	
		変換可能命令数	変換率			
シーケンス命令	基本命令	17	17	100%	51%	
	タイマ・カウンタ	4	3	75%	3%	
データ命令	転送命令	9	7	78%	25%	
	四則、関数命令	17	15	88%	8%	
	比較論理命令	10	7	70%	6%	
	その他	特殊ユニット ステップラダー ブロック命令	22	0	29%	7%
		上記以外	46	20		
合計	125	69	55%	100%	86%	

### ■C200HSシリーズの変換率

シーケンスプログラム 命令区分	コンバート率					
	命令数	単純比較		命令使用比率	プログラム変換率	
		変換可能命令数	変換率			
シーケンス命令	基本命令	20	20	100%	51%	
	タイマ・カウンタ	5	5	100%	3%	
データ命令	転送命令	10	7	70%	25%	
	四則、関数命令	50	33	66%	8%	
	比較論理命令	16	10	63%	6%	
	その他	特殊ユニット ステップラダー ブロック命令	9	0	27%	7%
		上記以外	28	10		
合計	138	85	62%	100%	82%	

### ■C200HX/HG/HEシリーズの変換率

シーケンスプログラム 命令区分	コンバート率					
	命令数	単純比較		命令使用比率	プログラム変換率	
		変換可能命令数	変換率			
シーケンス命令	基本命令	22	22	100%	51%	
	タイマ・カウンタ	5	5	100%	3%	
データ命令	転送命令	13	9	69%	25%	
	四則、関数命令	78	49	63%	8%	
	比較論理命令	40	22	55%	6%	
	その他	特殊ユニット ステップラダー ブロック命令	13	0	23%	7%
		上記以外	31	10		
合計	202	117	58%	100%	81%	

### ■CS1/CJ1シリーズの変換率

シーケンスプログラム 命令区分	コンバート率					
	命令数	単純比較		命令使用比率	プログラム変換率	
		変換可能命令数	変換率			
シーケンス命令	基本命令	55	54	98%	51%	
	タイマ・カウンタ	22	18	82%	3%	
データ命令	転送命令	15	11	73%	25%	
	四則、関数命令	193	124	64%	8%	
	比較論理命令	54	27	50%	6%	
	その他	特殊ユニット ステップラダー ブロック命令	97	7	15%	7%
		上記以外	54	15		
合計	490	256	52%	100%	80%	

命令使用比率は、シーケンス命令やデータ命令の全プログラム中で使われる割合(比率)